

令和 7 年度 佐久平駅前広場（蓼科口、浅間口）自家用車整理場設備更新工事 仕様書

1 概要

駐車料金システムの更新

- ・発券機 1 台、精算機 2 台、ゲート装置等一式

2 設置場所

佐久市佐久平駅東 2 2 番地（蓼科口）及び佐久市佐久平駅北 3 4 番地（浅間口）

3 工期

契約締結の日から令和 8 年 2 月 2 0 日

4 システム概要

駐車場利用者に対し、入口ではゲートにより入場管理を行い、出口では自動料金精算機により駐車料金を計算し、料金徴収または無料清算するものである。

（1）利用対象車両

軽自動車、小型乗用車、普通乗用車

（2）利用対象外車両

軽車両、原付バイク、自動二輪等、マイクロバス、中・大型トラック以上

（3）料金計算方法について

3 0 分まで無料、3 0 分を超え 6 0 分まで 2 0 0 円、以後 3 0 分毎に 1 0 0 円加算
ただし、佐久市駅前広場条例の料金が改正された場合は、設定を変更すること。

（4）設置する設備の仕様等は、別添特記仕様書のとおりとする。

5 工事内容

（1）佐久平駅前広場（浅間口、蓼科口）駐車場全自動料金精算装置設備更新（入替）

（2）付帯工事

（3）その他（設置に必要な付属品、雑材料を含むものとする。）

6 提出書類

（1）本業務に必要な工事を着手するときは、着工届、工事工程表を提出すること。

（2）設置工事等が完了したときには、完了届、写真、取扱説明書を提出すること。

7 その他

（1）本工事は、長野県の県土木部「土木工事共通仕様書」及び国土交通大臣官房庁営繕部監修「電気工事共通仕様書」に準じて行うものとする。

（2）駐車場全自動料金精算機装置の稼働日は、監督員と協議すること。

（3）工事完了後、1 年間の機器の保証については受注者が行うこと。

（4）保守メンテナンス会社は長野県内に拠点があり、その会社にて保守対応ができること。

（5）施工にあたっては、監督員と十分協議して行うものとする。

令和7年度 佐久平駅前広場（蓼科口、浅間口）自家用車整理場設備更新工事 特記仕様書

この駐車場管制設備は、駐車場において、自動車の入庫、出庫、案内、料金精算等を自動で行うもので、各装置等の仕様については参考図面及び次に示すものと同等またはそれ以上とする。

1 駐車場管制設備の概要

- (1) 駐車場入口の駐車券発券機、出口の全自動料金精算機、出入口のカーゲート装置を撤去し新たに設置すること（蓼科口駐車券発券機及び浅間口入口側カーゲート装置は既存設備を継承し使用する）。

設置する精算機はキャッシュレス決済（クレジット、電子マネー、QRコード決済）に対応すること。キャッシュレス決済導入に伴う契約手続は別途行う。また初期手続費用及びランニング費用などは発注者の負担とする。

- (2) 既存駐車券発券機、既存カーゲート装置、既存出庫注意灯、既存満空表示灯と接続しシステム連動できること。
- (3) 一般入庫車両が駐車券発券機前に埋設したループコイル上に停止したとき、車両感知器が検知状態となり、発券機から駐車場名称、入庫月日、時分、発行番号、端末番号、利用注意事項、駐車場名がサーマル式駐車券に磁気記録及びサーマル印字され発行すること。（発券機は係員の作業が容易なインクリボンレスタイプとする。）
- (4) 入庫時に発行された券を抜き取ると、ゲートバーが開き、ゲートバー閉用ループコイル上を車両が通過すると、バーが閉まること。
- (5) 契約者（管理者）の定期車両の入庫は、予め定期券を発行し、発券機に定期券を挿入すると、「有効期限・登録番号・入出庫状態」を読取「有効・無効」の判定を行い「有効」時のみカーゲートが開くこと。
- (6) 一般出庫車両が全自動精算機前に埋設したループコイル上に停止したとき、車両感知器が検知状態となり、駐車券挿入口のシャッターピンが開き紙幣挿入口シャッターが開き、駐車券を挿入すると、駐車料金が表示され硬貨、千円札、サービス券で料金徴収ができること。また、領収書が必要な方は領収書発行釦を押すとサーマル紙の領収書が発行できること。
（精算機は係員の作業が容易な領収書印字はインクリボンレスタイプとする。）
- (7) 精算完了後、出口カーゲートバーが開きゲートバー閉用ループコイルを車両が通過すると、バーが閉まること。また、出口出庫注意灯の点灯及びブザーが鳴動すること。
- (8) 契約者（管理者）の定期車の出庫は、定期券を挿入すると、「有効期限・登録番号・入出庫状態」を読取「有効・無効」の判定を行い「有効」時のみカーゲートが開くこと。
- (9) 精算機にて台数管理を行い、入口満空車表示灯の「満車・空車」の制御を行うこと。

2 機器機能・仕様

(1) 駐車券発券機

ア 駐車場入口に設置し、車路に埋設されたループコイルが車両を検知した状態で、駐車券を発行できること。

イ 駐車券に駐車場名称、入庫月日、時分、発行番号、端末番号、利用注意事項、駐車場名を

磁気記録及びサーマル印字が行えること。(既存の駐車券に蓼科口及び浅間口とも共通の駐車券デザインとする。駐車券発券時に各駐車場名称を印字させること。)

- ウ 現在時刻を表示する時計機能及び満車時に『満車』表示する機能を有すること
- エ 駐車券はインクリボンが不要なサーマル印字方式で裏面磁気コーティング式とすること。
- オ 駐車券は2箱(3,000枚入/箱)を装填し、1箱目が無くなったとき2箱目が自動充填できること。
- カ 駐車券の発行方式は自動発券方式または半自動発券方式で二者選択設定できること。
- キ 定期券を使用して入庫できることとし、定期券挿入読み取り後、返却された券を抜き取るとバーが作動すること。
- ク 駐車券を抜き取り後及び定期券読取後、入庫台数の計数カウントを全自動料金精算機に送信できること
- ケ 満車台数管理は一般車及び定期車の合算台数管理、別々台数管理の設定ができること。
別々台数管理の場合、一般車のみで満車判定ができること。その場合、一般車が満車時でも定期車は入庫可能にできること。
- コ 満車時には、駐車券発行を停止できること。
- サ 各操作過程にあわせて操作を促す音声案内が行えること。
- シ 発券機が故障したとき、メンテ操作パネルに故障内容が表示できること。
- ス 発行された駐車券を抜き取らず、入庫車両が後退した場合、発行した券を回収できること。
また、券を抜き取って車両が後退した場合は、当該券は無効券扱いとし、全自動料金精算機で利用できないようにすること。この場合は読取不良と異なる案内放送とすること。
- セ ループコイル式車両感知器を内蔵し、ループコイルと接続できること。
- ソ 蓼科口・浅間口2ヶ所の駐車場で消耗品(駐車券、定期券)が共通で使用できること。
- タ 警備会社などに駐車券切れなど接点出力できること。
- チ 形状は、自立据置型防雨構造であること。
- ツ 塗装色は、指定色：日塗工 09-20D 半艶とする。
- テ 機器は寒冷地仕様とすること。
- ト アンカーボルトにより底面が固定できること。
- ナ 電源：AC 100V±10% 60Hz
- ニ 材質：銅板製
- ヌ 警報出力：無電圧接点
- ネ 入口カーゲート装置と接続しシステム連動できること。

(2) 全自動料金精算機

- ア 駐車場出口に設置し、車路に埋設したループコイルが車両を検知し、精算待機状態から受付状態となり、精算できること。
- イ 当該駐車場が発行した券を読み取り料金計算ができること。
- ウ 精算時には、料金表示及び案内放送を行うこと。
- エ 駐車券は長手2方向読取ができること。
- オ 駐車券、定期券、サービス券、認証済券、プリペイドカードなどが読取できること。
- カ プリペイドカードで精算した場合、使用後プリペイドカードに残額印字ができること。

キ 使用できる貨幣は、硬貨は１０円、５０円、１００円、新旧５００円とし、紙幣は新旧千円札とする。

ク キャッシュレス決済（クレジット、電子マネー、QRコード決済）などに対応できること。
（契約事務手続、初期費用、ランニング費用等は発注者負担とする）

ケ 料金データ設定内容

（ア）取扱区分数３２区分

（イ）料金計算単位６４種類（昼夜料金、休日料金など）

（ウ）前サービス時間、後サービス時間、規定時間の設定ができること。

（エ）料金積算時間１分単位、１年以内

（オ）計算単位料金１０円単位、最大９９９，９９０円以内

（カ）祝祭日、特定日計算ができること。

（キ）釣銭硬貨（数日間分の対応ができること）

（ク）釣銭硬貨は自動循環方式とする。

（ケ）釣銭容量：１０円９０枚以上、５０円８０枚以上、１００円７５枚以上、５００円
７０枚以上

（コ）釣銭切れ時は、釣銭切れ警報信号が出力できること。

（サ）金庫収納容量は硬貨最大１，９００枚以上、紙幣最大４００枚以上あること。

（シ）券回収BOX容量は３，０００枚以上あること。

（ス）売上集計データ印字、集計項目機能があること。

（セ）小計・合計操作により売上集計（印字）が行えること。

（ソ）台数集計機能：入庫台数、出庫台数、２４時間帯別入出庫台数、駐車時間別台数集計
（印字）ができること。

（タ）売上金集計機能：現金売上、掛売金、割引金額、サービス回数券利用枚数及び金額集
計（印字）できること。

（チ）挿入した券に精算時刻及び金額等をサーマル印字して精算機内部に回収できること。

（ツ）駐車料金精算後、領収書発行釦を押下すると、駐車場名称、事業者名、インボイス登
録番号及び領収金額をサーマル印字発行できること。（領収書用紙は感熱記録紙とする。）

（テ）駐車券紛失時は、駐車券紛失釦押すと予め設定した料金を表示し徴収できること。

（ト）各設定がメンテ操作パネルなどで容易に設定できること。

（ナ）精算完了後、出庫信号を出力し出庫警報灯の点灯及び案内放送を鳴動させること。

（ニ）ループコイル式車両感知器を内蔵し、ループコイルと接続できること。

（ヌ）蓼科口及び浅間口の各駐車場の領収書用紙、サービス券、プリペイドカードが共通で
使用できること。

（ネ）警備会社等に釣銭切れ、用紙切れ、警報などの接点出力できること。

（ノ）形状は、自立据置型防雨構造であること。

（ハ）塗装色は、指定色：日塗工 09-20D 半艶とする。

（ヒ）機器は寒冷地仕様とすること。

（フ）アンカーボルトにより底面が固定できること。

（ヘ）電源：AC 100V ± 10% 60Hz

（ホ）材質：銅板製

- (マ) 警報出力：無電圧接点
- (ミ) 出口カーゲート装置と接続しシステム連動できること
- (ム) 釣銭が不足した場合は、料金投入後、預り書を発行し出庫可能とすること。
- (メ) 料金収納金庫は、予備を1台納品すること。

(3) カーゲート装置

- ア 入口の駐車券発券機、出口の全自動料金精算機と連動して開動作できること。
- イ ゲート閉用ループコイル上を車両が通過するとバーが閉動作すること。
- ウ ゲートバーの材質は、グラスファイバー製ストレートバーとすること。
- エ 停電時等には、手動ハンドルによりバーを手動開閉動作できること。
- オ バー交換は、専用工具など使用せず容易に交換できること。
- カ 安全装置として、障害物センサー等により落下防止機能付きとすること。
- キ 形状は、自立据置型防雨構造であること。
- ク 塗装色は、指定色：日塗工 09-20D 半艶とする。
- ケ 機器は寒冷地仕様とすること。
- コ アンカーボルトにより底面が固定できること。
- サ 駐車券発券機、全自動料金精算機に内蔵し、車路に埋設したループコイルと接続し車両検知信号を出力すること。
- シ ゲートバーについて、外部からの信号及び内部のスイッチ操作により開閉可能とすること。また、通電時のみ、警備会社と連携し、遠隔操作にて開閉ができること。

(4) その他改修

- ア 満空表示灯のP表示部の内部照明器具を LED 照明器具に取替すること。
- イ 出庫注意灯の出庫注意表示部の内部照明器具を LED 照明器具に取替すること。

3 特記事項

- (1) 新設装置の設置及びこれに伴う各機器との結線等は的確に行い、機器の試運転調整等を十分に行うこと。
- (2) 既存基礎の上に新設する機器を配置すること。
- (3) 施行にあたって、利用者の通行等の支障にならないように配慮し、支障をきたす恐れのある場合には、同時施工を行わないなど十分な配慮をすること。また、工事の日程等については事前に協議すること。
- (4) 撤去した機器及び機器設置後に発生した廃棄物などは、受注者の負担にて責任を持って処理すること。また、産業廃棄物管理票の写しを提出すること。
なお、産業廃棄物として処分しない場合は、処分経過等を文書に提出すること。売却等で、利益が出た場合は変更契約をすることとする。
- (5) 万一、施工中に受注者の責めに帰すべき事由による事故等が発生した場合は、直ちに市担当者に連絡してその指示に従うとともに、その損害の補償は受注者の責任において行うこと。
- (6) その他、機器及び設置、改修に関する詳細は、別途協議することとし、指示事項については誠意を持って対応すること。

- (7) 入札にあたっては、事前に現地を確認すること、また、機器設置に支障となる構造物は移設すること。
- (8) システム機器保守メンテは、要請後概ね1時間以内で実行できること。
- (9) 消耗品及び各券は別途発注指示するが機器同時納入とすること。本品の納期が厳しい場合は代替品を用意すること。
- (10) 消耗品（駐車券、サービス券、定期券、領収書用紙、プリペイドカード）関連は蓼科口・浅間口の2ヵ所で共通で使用できること。
- (11) 最低制限価格算出時において、「機器費」については、直接工事費に含めて算出してください。
- (12) 最低制限価格算出時において、「据付間接費」及び「設計技術費」については、現場管理費に含めて算出してください。

《機器数量》

No	機器名称	仕様	数量	備考
《蓼科口駅前駅前駐車場》				
1	駐車券発券機	サーマル式駐車券方式、寒冷地仕様	1 台	既存流用
2	全自動料金精算機	キャッシュレス対応、寒冷地仕様	1 台	更新
3	カーゲート装置	ストレーパー付、寒冷地仕様	2 台	更新
4	車両感知器	機器に組込	2 台	
5	既設満空表示灯改修	P 表示部内部照明 LED	1 箇所	器具取替
6	既設出庫注意灯改修	出庫注意表示部内部照明 LED	1 箇所	器具取替
7	緊急通報装置（カイトホン）	収納 BOX	1 台	既存流用
8	既設屋外テント照明	照明	2 箇所	既存流用
9	電源盤	収納 BOX	1 台	既存流用
10	ループコイル		－	既存流用
《浅間口駅前駅前駐車場》				
1	駐車券発券機	サーマル式駐車券方式、寒冷地仕様	1 台	更新
2	全自動料金精算機	キャッシュレス対応、寒冷地仕様	1 台	更新
3	カーゲート装置	ストレーパー付、寒冷地仕様	1 台	既存流用
4	車両感知器	機器に組込	1 台	
5	既設満空表示灯改修	P 表示部内部照明 LED	1 箇所	器具取替
6	既設出庫注意灯改修	出庫注意表示部内部照明 LED	1 箇所	器具取替
7	緊急通報装置（カイトホン）	収納 BOX	1 台	既存流用
8	既設屋外テント照明	照明	2 箇所	既存流用
9	電源盤	収納 BOX	1 台	既存流用
10	ループコイル		－	既存流用